

# 令和2年度(2020年度)指標に対する実績評価

指標の目標年度 2020年度

評価期間 2018年度～2020年度

## 1 市民サービスに必要な資料を確保し、提供することに関する指標 (4項目)

No.	目標指標	参考値			目標値	R2年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		H29年度実績	H30年度実績	R1年度実績				
1-1	所蔵資料点数	474,702点	476,371点	481,717点	490,000点	482,244点	98.42%	利用者の要望や地域の実情に留意しつつ計画的に多様な所蔵資料の整備を図り、図書館サービスの充実を目指す。
評価	司書資格を有する職員で構成する図書選定委員会を毎週開催し、市民からのリクエストも含めた図書購入について検討、良質な図書の収集に努めている。中央図書館の所蔵スペースでは、これ以上所蔵資料点数を増やすことが困難であるため、4交流センターへの所蔵変更を含めて資料の充実を図りたい。							
1-2	個人貸出点数(視聴覚資料含む)	1,302,032点	1,404,376点	1,428,568点	1,450,000点	1,236,562点	85.28%	利用者の多様な要求に応えるよう努め、貸出の増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
評価	貸出点数は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う臨時休館や開館時間の短縮などにより減少した。引き続き感染症予防対策を行い、読書推進や情報発信などに努め、サービスの維持向上を図りたい。							
1-3	視聴覚資料貸出点数	69,311点	72,522点	69,993点	85,000点	52,113点	61.31%	視聴覚資料は1点当たりの購入が高額となるため、資料の厳選に努めながら計画的に整備し、貸出の増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
評価	視聴覚資料の貸出は、インターネット等の普及のためか減少傾向である。また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う臨時休館や開館時間の短縮などによりさらに減少した。1点当たりの購入金額が高価になることから、利用状況などを踏まえながら資料の厳選に努め、資料の充実と有効活用を図りたい。							
1-4	市民一人当たりの貸出点(冊)数	5.6点	6.0点	5.9点	6.0点	5.1点	84.33%	中央図書館と4図書室の連携を図るとともに、自動車図書館を活用し、市民一人当たりの貸出点数の増を図り、市内全域における図書館サービスの充実を目指す。
評価	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う臨時休館や開館時間の短縮などにより減少した。引き続き感染症予防対策を行い、安全で安心な図書館環境整備を行うとともに、サービスステーションや蔵書管理の維持向上を行い、利用増に努めたい。							

## 2 市全体へのサービスに関する指標 (10項目)

No.	目標指標	参考値			目標値	R2年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		H29年度実績	H30年度実績	R1年度実績				
2-1	新規登録者数	5,939人	6,624人	5,750人	6,500人	5,190人	79.85%	転入者や図書館未利用者等に対するピーアールに努め、登録者数の増を図ることで、市民の図書館活用の促進を目指す。
評価	新一年生に対して小学校を通じて図書館利用カードを発行するなどして登録者数の増を図ったが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響もあり、前年度より減少した。図書館利用についての情報発信を積極的に行い、登録者並びに図書館利用者の増を図りたい。							
2-2	図書館利用カード利用者数	30,579人	31,600人	30,821人	33,500人	25,964人	77.50%	利用しやすい図書館運営に努め、より多くの市民に図書館資料の提供を図ることで、市民の図書館活用の促進を目指す。
評価	新型コロナウイルス感染症の拡大の影響もあり、前年度より減少した。利用しやすい図書館運営に努め、また図書館利用につながるイベントなどを実施し、多くの市民の図書館利用の促進を図りたい。							
2-3	来館者数	514,588人	571,642人	559,798人	580,000人	393,375人	67.82%	利用しやすい図書館運営に努め、来館者数の増を図ることで、市民の図書館活用の促進を目指す。
評価	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う臨時休館や開館時間の短縮などにより減少した。イベントの開催や貸出利用者の増により、来館者増を図りたい。							
2-4	年間開館日数	280日	290日	289日	293日	266日	90.78%	利用しやすい図書館運営に努め、年間の開館日数を増やすことで、市民の図書館利用の促進を目指す。
評価	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う臨時休館により減少した。館内整理日や祝日開館の振替休館の見直しなどにより、開館日数増を図りたい。							
2-5	年間開館時間	2,446時間	2,731時間	2,718時間	2,760時間	2,423時間	87.79%	利用しやすい図書館運営に努め、年間の開館日数を増やすことで、市民の図書館利用促進と利便性の向上を目指す。
評価	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う臨時休館や開館時間の短縮などにより減少した。引き続き開館日数を増やすことを検討していきたい。							

No.	目標指標	参考値			目標値	R2年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		H29年度実績	H30年度実績	R1年度実績				
2-6	返却窓口への返却冊数	111,526冊	130,644冊	137,388冊	130,000冊	116,371冊	89.52%	ブックポスト等を設置することで利用者の利便性の向上に努め、市民の利用の促進を目指す。
評価	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う臨時休館や開館時間の短縮などにより減少した。今後も利用の増加が見込まれるため、サービスステーションの位置や配送頻度について検討を続けたい。							
2-7	予約件数	106,252件	125,589件	131,781件	120,000件	131,036件	109.20%	図書館窓口のほか図書館ホームページからのインターネット予約の充実を図るとともに、4図書室等を活用した迅速な予約本の貸出サービスに努め、市民の利用の促進を目指す。
評価	新型コロナウイルス感染症の拡大により、利用者自身ができるだけ図書館への来館を控えたり滞在時間を短くする中、予約件数は来館者数や貸出点数などと比較して影響は小さかった。今後も市民サービスの維持向上を図りたい。							
2-8	図書館ホームページへのアクセス件数(簡易検索の検索件数)	369,210件	362,418件	363,192件	390,000件	371,691件	95.31%	図書館ホームページの内容充実と分かりやすい情報発信に努め、市民の理解と関心を高めることで、市民の利用の促進を目指す。
評価	OPACのトップページで蔵書検索をした件数であり、詳細検索などは含まない。予約件数と同様に新型コロナウイルス感染症拡大の影響は受けず、検索数はむしろ増加した。引き続き件数増を図り、図書館利用の促進を図りたい。							
2-9	図書館情報紙の発行回数	4回	4回	5回	6回	7回	116.67%	図書館情報紙「ヨモッカ」「こどもヨモッカ」など、市民に親しまれる情報紙を定期的に発行し、市民の理解と関心を高めることで、市民の利用の促進を目指す。
評価	図書館情報紙「ヨモッカ」及び「こどもヨモッカ」を年2回ずつ発行したほか、所蔵資料の紹介紙「としょかんの本」を2回発行し、目標を達成した。引き続き市民に親しまれる情報紙を定期的に発行し、図書館利用の促進を図っていききたい。							
2-10	ボランティア等によるおはなし会等開催回数	84回	89回	71回	100回	23回	23.00%	定期的におはなし会等を開催することで、本に関する関心を高め、読書推進を目指す。
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、おはなし会を中止としたことから、大幅に回数が減った。コロナ対策を踏まえた上で、イベントの運営について検討していききたい。							

### 3 高齢者、障害を持った方及び外国の方へのサービスに関する指標 (5項目)

No.	目標指標	参考値			目標値	R2年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		H29年度実績	H30年度実績	R1年度実績				
3-1	大活字本の所蔵冊数	2,478冊	2,582冊	2,680冊	2,700冊	2,735冊	101.30%	大活字本の計画的な蔵書に努め、高齢の方、障害を持った方の図書館サービスの充実を目指す。
評価	計画的に購入を行い所蔵数を増やし、目標を達成することができた。読書バリアフリー法が制定され、また高齢者の利用も増えているため、今後も計画的な蔵書構築に努めたい。							
3-2	大活字本の貸出冊数	1,874冊	2,369冊	2,773冊	2,300冊	1,960冊	85.22%	資料の充実とともに、大活字本コーナーの分かりやすい表示やピーアールに努め、高齢の方や障害を持った方の図書館サービスの充実を目指す。
評価	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大活字本についても貸出冊数は減少した。蔵書の質を高め、貸出冊数の増加を図りたい。							
3-3	外国語資料の所蔵点数	10,213冊	10,543冊	10,829冊	11,000冊	11,046冊	100.42%	外国語資料の蔵書数を増やし、多言語サービスの向上を図り、図書館サービスの充実を目指す。
評価	計画的に購入を行い所蔵数を増やし、目標を達成することができた。外国人居住者数は今後も増加見込みであるため、引き続き外国語資料の購入予算増や、積極的な寄贈資料の受入れにより、所蔵点数を増やしていききたい。							
3-4	外国語資料の貸出冊数	7,190冊	10,466冊	10,895冊	8,500冊	10,672冊	125.55%	外国語資料コーナーの配架や外国語による掲示等の充実を努め、外国語資料の貸出増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
評価	所蔵外国語資料の充実を進めたためか、外国語資料の貸出点数については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が小さい結果となった。今後も外国語資料を紹介するイベントを行うなど、維持向上を図りたい。							

No.	目標指標	参考値			目標値	R2年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		H29年度実績	H30年度実績	R1年度実績				
3-5	点字資料の所蔵点数	214点	224点	228点	230点	237点	103.04%	点訳資料の作成及び収集に努め、所蔵点数増を図り、障害を持った方への図書館サービスの充実を目指す。
評価	点訳ボランティアによる点字資料の作成を行い、目標を達成することができた。引き続き、点訳ボランティアによる点字資料の作成を継続的に支援するとともに計画的に点字資料を購入することで、サービスの充実を図りたい。							

#### 4 地域支援サービスに関する指標（3項目）

No.	目標指標	参考値			目標値	R2年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		H29年度実績	H30年度実績	R1年度実績				
4-1	自動車図書館利用人数	11,016人	13,279人	12,033人	14,000人	12,712人	90.80%	自動車図書館のステーションの見直しや蔵書の充実を図り、適切な周期の運行に努め、図書館サービスの充実を目指す。
評価	新型コロナウイルス感染症拡大により図書館への来館を控えた反面、自動車図書館の利用者は増加したが目標には達しなかった。市域が広いつくば市において自動車図書館は重要な役割を担っており、ステーションの見直しや情報発信で更なる拡充を図りたい。							
4-2	自動車図書館貸出冊数	44,860冊	50,226冊	46,887冊	55,000冊	44,415冊	80.75%	自動車図書館資料の充実に努め、利用者のニーズに応じた本を積載して各ステーションを巡回することで、貸出冊数の増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
評価	自動車図書館の利用者が増加した反面、貸出冊数は減少した。利用者層を反映させた図書の購入、積載図書の選書を行うなど資料の充実を図り、自動車図書館での貸出増加を図りたい。							
4-3	相互貸借貸出冊数	1,339冊	1,198冊	1,460冊	1,500冊	575冊	38.33%	利用者が求める資料で中央図書館が所蔵していない資料について、他の図書館と連携して利用者に提供することで、図書館サービスの充実を目指す。
評価	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う臨時休館等に加え、相手方図書館の休館などもあり、大幅に減少した。希望の資料にアクセスできるよう制度周知を図ると共に、潜在的ニーズも掘り起こせるよう情報提供をしていきたい。							

#### 5 課題解決支援、ボランティアとの連携、利用者の情報活用能力に関する指標（3項目）

No.	目標指標	参考値			目標値	R2年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		H29年度実績	H30年度実績	R1年度実績				
5-1	レファレンス受付件数	1,630件	1,808件	1,608件	1,800件	1,389件	77.17%	レファレンス能力の向上とレファレンスサービスのピーアールに努め、利用者の情報や知識の獲得、調査研究や調べ学習を支援し、図書館サービスの充実を目指す。
評価	新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり大きく減少し、目標には達しなかった。引き続きサービスの周知を図るとともに、研修への参加や職場内研修の時間を確保し、職員のレファレンス能力の向上を図り、図書館サービスの充実に努めたい。							
5-2	ボランティア登録者数	132人	142人	159人	160人	150人	93.75%	より多くの方にボランティア活動に参加していただけるよう、多様なボランティア活動の機会や場所を提供を図る。また、ボランティアの協力を得ることで図書館サービスの充実を目指す。
評価	平日活動のグループが多いため、就業している方はなかなか参加できないという課題がある。新たなボランティア活動を依頼するとともに、活動日の見直しを図りたい。また、配架ボランティアは、登録者が集中し年度途中で募集を締め切った。できるだけ多くの人が活動できるような工夫を考えたい。							
5-3	ボランティア活動者数	1,447人	1,544人	1,533人	2,200人	1,006人	45.73%	多様なボランティア活動の機会や場所を提供することで、市民のボランティア活動を支援するとともに、ボランティアの協力を得ることで図書館サービスの充実を目指す。
評価	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う活動停止や見送りなどにより、活動者数は大きく減少した。感染防止対策や現状下での活動方法を検討していきたい。							

#### 6 学校図書館等支援に関する指標（6項目）

No.	目標指標	参考値			目標値	R2年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		H29年度実績	H30年度実績	R1年度実績				
6-1	団体貸出利用回数	120回	201回	248回	150回	103回	68.67%	団体貸出についてのピーアールに努め、学校や公共機関等の団体貸出利用団体の増を図り、学校等における読書活動の推進を目指す。
評価	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、団体貸出利用回数は減少し目標に達しなかった。団体貸出の周知と共に、団体貸出が利用しやすい環境を整えたい。							

No.	目標指標	参考値			目標値	R2年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		H29年度実績	H30年度実績	R1年度実績				
6-2	団体貸出図書冊数	9,704冊	12,392冊	10,601冊	15,000冊	6,912冊	46.08%	団体貸出についてのピーアールに努め、学校や公共機関等への団体貸出しの利用増を図り、学校等における読書活動の推進を目指す。
評価	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、団体貸出の貸出冊数は減少し目標に達しなかった。魅力ある図書を揃えると共に、選書、貸出、返却のしやすい環境作りを進めたい。							
6-3	社会科見学等の図書館見学受入回数	6回	11回	6回	10回	0回	0.00%	読書活動の普及を図るため、受入体制の充実に努め、読書活動の推進を目指す。
評価	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い実施を見送った。学校等と協議を行い、実施が可能な場合は、スケジュール調整を行い、積極的に受け入れをすることで読書推進を図りたい。							
6-4	職場体験学習受入人数	30人	23人	25人	40人	0人	0.00%	読書活動の普及を図るため、図書館の受入体制の充実に努め、読書活動の推進を目指す。
評価	中学2年生(義務教育学校8年生)を対象に図書館の業務を体験してもらう事業。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い実施を見送った。学校等と協議を行い、実施が可能な場合は、スケジュール調整を行い、積極的に受け入れをすることで読書推進を図りたい。図書館の利用者数が増える夏休み期間に受け入れることが多く、人員配置が課題である。							
6-5	ジュニア図書館員受入人数	87人	51人	47人	75人	0人	0.00%	読書活動の普及を図るため、図書館の受入体制の充実に努め、読書活動の向上を目指す。
評価	5年生、6年生を対象に図書館の業務を体験してもらう事業。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い実施を見送った。職場体験学習受入れと同様に、職員の人員配置が課題となる。							
6-6	学校図書館司書教諭補助員等の研修参加人数	89人	86人	180人	170人	0人	0.00%	学校図書館との連携を強化し、司書教諭や司書教諭補助員の研修等を支援することで、読書活動の推進を目指す。
評価	年度初めに実施される司書教諭・司書教諭補助員等の全体研修会の参加人数。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い実施を見送った。オンラインによる研修の実施など、実施の方法を検討していきたい。							

#### 7 市民満足度に関する指標（1項目）

No.	目標指標	参考値			目標値	R2年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		H29年度実績	H30年度実績	R1年度実績				
7-1	利用満足度調査の満足度	83%	79%	84%	80%以上	85%	106.85%	図書館利用者の満足度を把握し、利用者の声をサービスに反映させることで図書館運営の向上を目指す。
評価	年度末の3月に図書館内で利用者に対して実施した満足度調査の結果。「満足」と「やや満足」と回答した方の合計割合は目標を達成することができた。人口増に対する施設の限界を感じるが、コロナ対策も含め改善できることを見つけ、向上に努めたい。							